

## ガイドンステラスシアター：中瀬沼探勝路

中瀬沼は、1888年の磐梯山の噴火後形成された数多くの湖沼、湖のうちの1つです。この1.2キロメートルの平坦な散策路を進むと、噴火後に土石流により形成された小高い丘の横を通り、中瀬沼近くにある展望台に行くことができます。この展望台から、磐梯山を背にして中瀬沼の眺めを楽しむことができます。山の尾根では、噴火中磐梯山の山峰の1つが崩れ落ちたときに形成された噴火口を見ることができます。

暖かい時期には、中瀬沼周辺で、ウラギンヒョウモン（学名：*Fabriciana adippe*）やキマダラセセリ（学名：*Potanthus flavus*）などの蝶のほかに、胸の色が特徴的な黄色がかったオレンジ色をしたキビタキ（学名：*Ficedula narcissina*）や鶯（学名：*Horornis diphone*）を見ることができます。このあたりには、トンボや蝉や蛙も生息しています。

夏には、ヒナギクのようなサワオグルマ（学名：*Tephroseris pierotii*）の花が中瀬沼の沿岸を鮮やかな黄色に染め、淡い青色とピンク色の花びらをつけたエゾアジサイ（学名：*Hydrangea serrata var. yesoensis*）が景観のアクセントになります。秋には、オレンジ色や赤色の色彩が大地に広がり、冬になると、雪の層が大地を覆います。